

期日 令和4年11月28日(月) 13:00~16:30
会場 佐伯総合庁舎4階大会議室

内容

- 1 説明・協議
 「1人1台端末を活用した実践交流及び今後の単元における1人1台端末活用について」
 【助言者】鳴門教育大学准教授 泰山 裕 氏（オンライン）
- 2 講義
 「各教科等の特質及び学習過程を踏まえた1人1台端末を効果的に活用した授業づくり」
 【講師】鳴門教育大学准教授 泰山 裕 氏（オンライン）



【協議会アンケート】※抜粋

- ICTの活用を固く考えていましたが、気軽に使いたいです。まずは自分が使い、たくさん慣れていきたいです。
- 今まで持ったことのない視点を持つことができました！今後の研修の見直しを図りたいと思います。
- 子どもたちが自由に使うことに不安を感じていましたが、もっと使わせていって慣れさせる必要があると感じました。また、中学校の取り組みを聞いたことも印象的でした。
- 他校の先生方の実践がとても参考になった。同じ班の先生が、実験の様子を動画で撮影し、繰り返しながら考察させるといった使い方をしており、自分の授業でも取り入れたいと思った。小学校で様々な場面でタブレットを使用し、また多様なアプリ等を使っていることを知ることができたので、中学校ももっと活用していかないといけないなと思った。講演を聞いて、これからは教育のあり方自体が変わっていくのだろうとおもった。まずは、タブレットをできるだけ使用し、大人が使うものを使えるように意識したいと思った。
- 私自身もiPad保管庫からいちいち取り出すのが面倒で、取りに行くにも鍵があるのだ、他の先生が鍵を握っているのでおっくうでしたが、朝からずっと渡してよいのは、扱いやすくなり、どんどん使ってみようと思えました。ありがとうございました。